**令和６年度広島県私立高等学校等修学支援業務公募型プロポーザル選定委員会**

**議事要旨**

|  |  |
| --- | --- |
| 項　　目 | 内　　　　　容 |
| １ | 日　　時 | 令和６年３月27日（水）10時00分から11時20分まで |
| ２ | 場　　所 | オンライン会議 |
| ３ | 出席委員 | ・環境県民局学事課長（委員長）・環境県民局環境県民総務課長・環境県民局県民活動課長・教育委員会事務局学びの変革推進部教育支援推進課長・教育委員会事務局学びの変革推進部高校教育指導課長（代理） |
| ４ | 議　　題 | 令和６年度広島県私立高等学校等修学支援業務公募型プロポーザルに係る最優秀提案者の選定 |
| ５ | 担当部署 | 環境県民局学事課 |
| ６ | 開催方法 | 　参集（オンライン会議）２　持ち回り |
| ７ | 議事内容 | １　審査方法　　提案者から提出された提案書、提案書に係るプレゼンテーション及びヒアリングの内容を基に、提案書評価基準に従い審査を行った。２　審査結果(1) 審査対象者（提案書受理順）ア　アデコ株式会社　ＯＳセールス西日本支社（Ａ者）イ　株式会社パソナ　パソナ・広島（Ｂ者）(2) 審査対象者の評価値別紙「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。(3) 最優秀提案者及び選定理由　ア　最優秀提案者　　アデコ株式会社ＯＳセールス西日本支社（Ａ者）　イ　選定理由　　　各選定委員による採点結果の合計点が最も高かったため。３　質疑応答　(1) Ａ者（アデコ株式会社　ＯＳセールス西日本支社）　委員　独自提案としてＡＩ－ＯＣＲやＲＰＡ等の活用を挙げているが、今回の見積額にこれに係る費用が含まれているか。　Ａ者　今後の展開に係るものであり、見積額には含んでいない。　委員　仮に受注時にＡＩ－ＯＣＲやＲＰＡ等を導入したとして、その後本業務の受託者が変わる場合はどうなるものか。　Ａ者　やり方次第であるが、システムの契約はシステム事業者と県とで契約し、運用受託者が変わっても継続して使用できるようにしている例がある。　委員　受託実績に令和５年度の本業務がある。それを踏まえて改善できる点があるか。　Ａ者　例えば、提出される書類に大変不備が多い業務があった。これに関しては提出前にチェックできるチェックリストを作成、取りまとめる学校で使っていただくことで、大幅に不備を減らせると考える。　(2) Ｂ者（株式会社パソナ　パソナ・広島）　委員　他県での就学支援金の受給資格審査に関わる事務の履行実績があるが、そこで得られたノウハウを本業務に活用可能か。　Ｂ者　現段階ではグループ内で概要のヒアリングを行ったところまでであるが、活用可能であると考える。　委員　受注した場合は、どうか。　Ｂ者　業務開始までにより詳細にヒアリング等を行い、実際の業務の構築や改善に反映していきたい。 |